

# 2025年3月期 第1四半期決算説明資料 트레이ダーズホールディングス株式会社

証券コード：8704  
2024年7月31日



JPX-NIKKEI Mid Small



金融を、もっと面白く。

有吉弘行さん起用のTVCMは当期も絶賛放映中！

金融を、もっと面白く。



みんなが  
使ってるFX?

…みんなって誰だよ



FXといえば、  
みんなの  
FX

CM公開中 



- 01 2025年3月期 第1四半期業績ハイライト**
- 02 2025年3月期決算 業績予想**
- 03 業績予想達成に向けた2025年3月期の施策進捗**
- 04 資本政策**
- 05 Appendix**

金融を、もっと面白く。

Traders

# 2025年3月期 第1四半期 業績ハイライト



# 2025年3月期 第1四半期 エグゼクティブサマリー

金融を、もっと面白く。



歴史的な円安局面と金利差を背景に、高金利通貨のスワップ訴求戦略が奏功し、  
預り資産は順調な増加ペースを維持

日銀による過去最大規模の為替介入による急激な相場変動により、局所的に高ボラティリティが発生し、**四半期で過去最高となる営業収益および営業（経常）利益を計上**

|             | 2024年3月期<br>第1四半期 | 2025年3月<br>第1四半期 | 前年同期比  |
|-------------|-------------------|------------------|--|
| <b>営業収益</b> | 2,840 百万円         | 3,513 百万円        | +23.7 %   |
| <b>営業利益</b> | 1,593 百万円         | 2,054 百万円        | +29.0 %  |

# 2025年3月期 第1四半期トピックス

金融を、もっと面白く。



営業収益

35 億円

前年同期比

+ 6 億円

- ✓ 預り資産が順調に増加している顧客基盤をベースに、過去最大規模となる約9.8兆円の為替介入により大きく相場が変動し、ドル/円・クロス円で営業収益が伸長 また、通貨別では、当社が力を入れているメキシコペソ/円がメキシコ大統領選に絡んで相場変動が大きくなった結果、四半期ベースで過去最高の営業収益を計上

販売費及び一般管理費

14 億円

前年同期比

+ 2 億円

- ✓ 預り資産大幅増加達成に向け広告宣伝費の先行投資を積極化したことで取引関係費は増加、さらに高賃金経営の実践として人的資本投資の強化を継続し人件費は増加したものの、販売費及び一般管理費は全体としてほぼ横ばいに推移

営業利益率

58.5 %

前年同期比

+ 2.4 %

- ✓ 優秀な人材獲得および高賃金経営の実践により人件費が増加したものの、販売費及び一般管理費は全体として横ばいで推移 固定費が主体であるため、営業収益が大きく増加したことが営業利益の増加に直結し、高い営業利益率となった

預り資産残高

1,066 億円 (2024年6月末時点)

前期末比

+56 億円

- ✓ 過去最大規模の為替介入がもたらした相場急変動により多額の顧客実現損失が発生し、4月末では一時的に預り資産が減少となったものの、昨年改善したマーケティング戦略が順調に成果を発揮していることに加え、新たにスタートした大口顧客に対するコンサルティングが軌道に乗つつあるため、四半期で56億円の預り資産の増加を達成

# 四半期連結業績

金融を、もっと面白く。



顧客基盤の順調な拡大と相場変動により、四半期ベースでの営業収益および営業（経常）利益、四半期純利益は過去最高となった

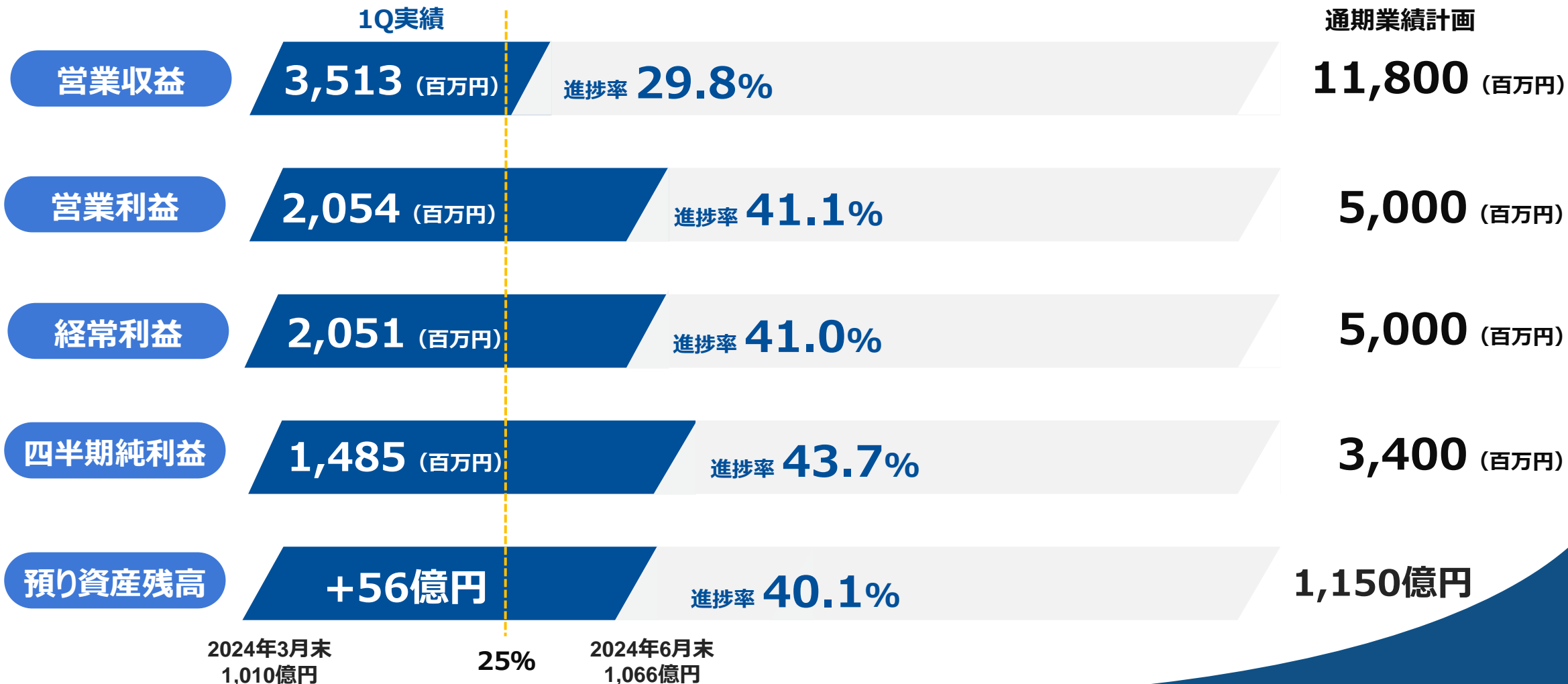
| (単位：百万円)        | 2024年3月期          |                   |                     |                   | 2025年3月期                | 前年同期比<br>(1Q) |
|-----------------|-------------------|-------------------|---------------------|-------------------|-------------------------|---------------|
|                 | 1Q<br>(2023年4-6月) | 2Q<br>(2023年7-9月) | 3Q<br>(2023年10-12月) | 4Q<br>(2024年1-3月) | 1Q<br>(2024年4-6月)       |               |
| 営業収益            | 2,840             | 1,773             | 3,216               | 2,273             | <b>3,513</b>            | <b>+23.7%</b> |
| 営業利益<br>(利益率)   | 1,593<br>(56.1%)  | 269<br>(15.2%)    | 1,905<br>(59.2%)    | 644<br>(28.3%)    | <b>2,054</b><br>(58.5%) | <b>+29.0%</b> |
| 経常利益<br>(利益率)   | 1,582<br>(55.7%)  | 263<br>(14.9%)    | 1,907<br>(59.3%)    | 636<br>(28.0%)    | <b>2,051</b><br>(58.4%) | <b>+29.6%</b> |
| 四半期純利益<br>(利益率) | 1,312<br>(46.2%)  | 193<br>(10.9%)    | 1,372<br>(42.7%)    | 456<br>(20.1%)    | <b>1,485</b><br>(42.3%) | <b>+13.2%</b> |

# 四半期連結業績進捗率

金融を、もっと面白く。



営業収益は約30% 営業利益、経常利益、四半期純利益は40%超の高進捗率で第1四半期を終了  
預り資産の進捗率も6月末時点で約40%となり、年間目標の1,150億円達成に向け順調に推移





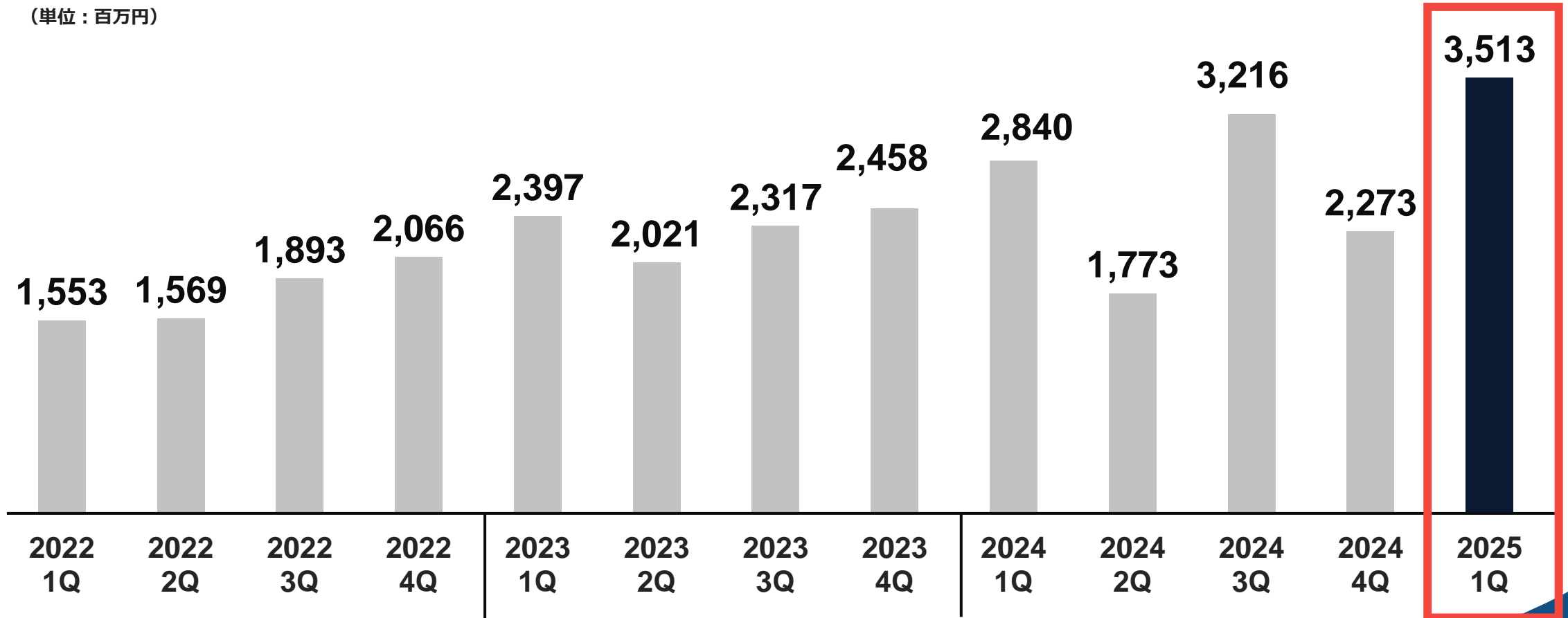
# 業績推移（営業収益）

金融を、もっと面白く。



✓ 顧客基盤の順調な拡大と相場変動により、四半期ベースでの営業収益は過去最高となった

（単位：百万円）



# 販管費の推移

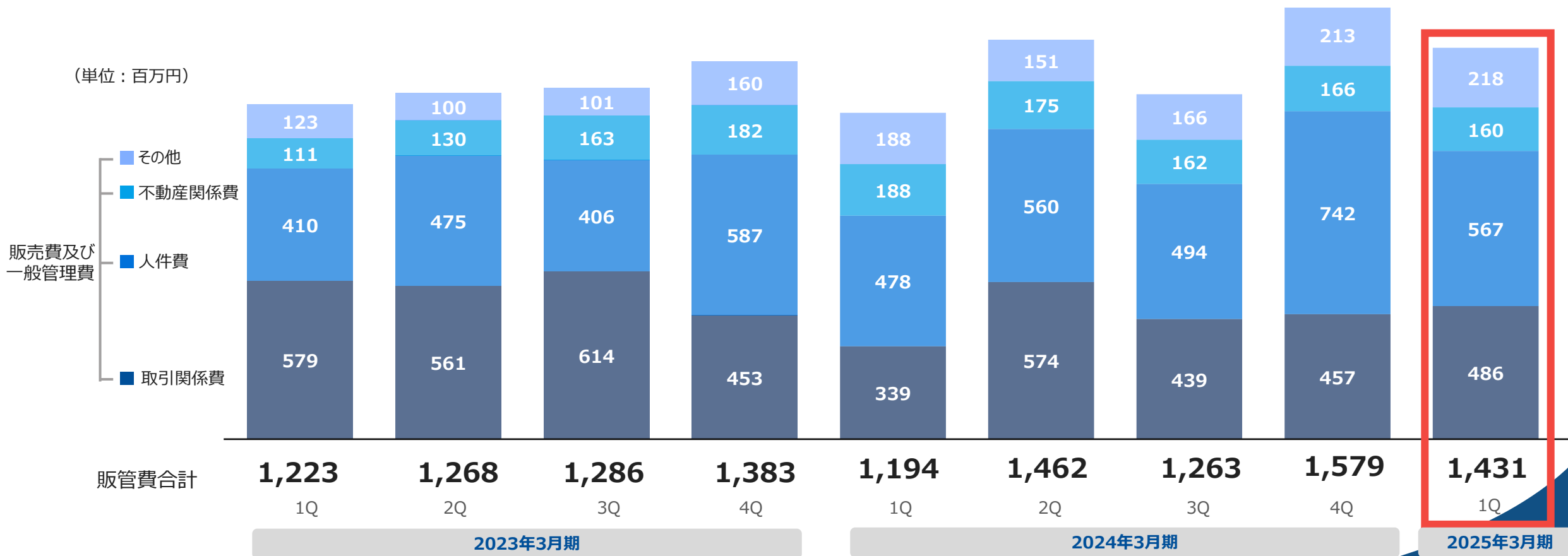
金融を、もっと面白く。



- ✓ 当期以降の3か年において預り資産の大幅増加を達成するために広告宣伝費への先行投資を積極化する方針
- ✓ 当第1四半期の広告宣伝費は前四半期と比較してほぼ同程度となったが新規顧客獲得数および預り資産は増加、効率性改善

※2024年3月期より、「売上原価」に含めていた一部の人件費等の費用について、「販売費及び一般管理費」に含めております。  
そのため、2023年3月期の数値に関しても同様の組替えを行っております。

(単位：百万円)



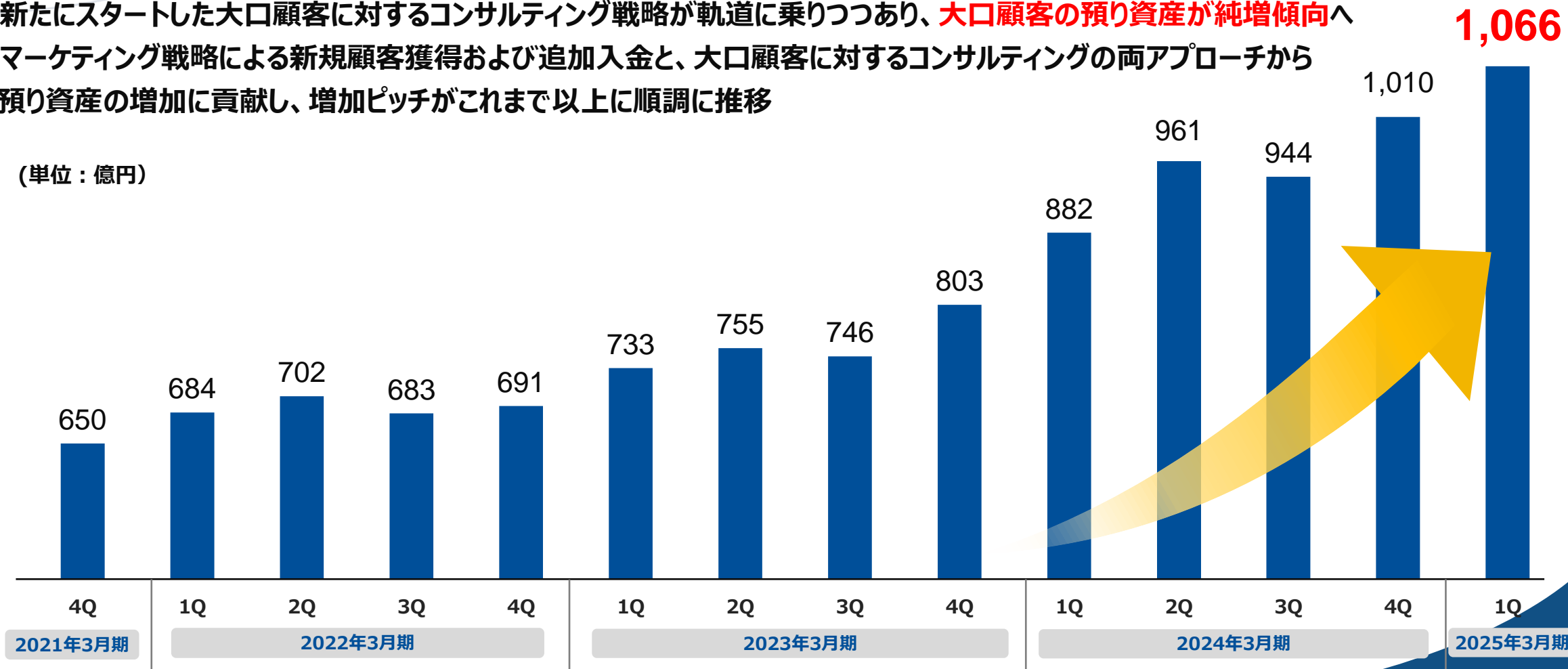
# 預り資産推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ 当社はみんなのFX、LIGHT FXで**業界最高水準のスプレッド、スワップ**を提供し続け、**商品性自体が高い競争力**
- ✓ 昨年変更した新マーケティング戦略により顧客獲得効率がUP、**広告宣伝費に対する新規口座数、入金額が大幅改善**
- ✓ 新たにスタートした大口顧客に対するコンサルティング戦略が軌道に乗りつつあり、**大口顧客の預り資産が純増傾向へ**
- ✓ マーケティング戦略による新規顧客獲得および追加入金と、大口顧客に対するコンサルティングの両アプローチから預り資産の増加に貢献し、増加ピッチがこれまで以上に順調に推移

(単位：億円)



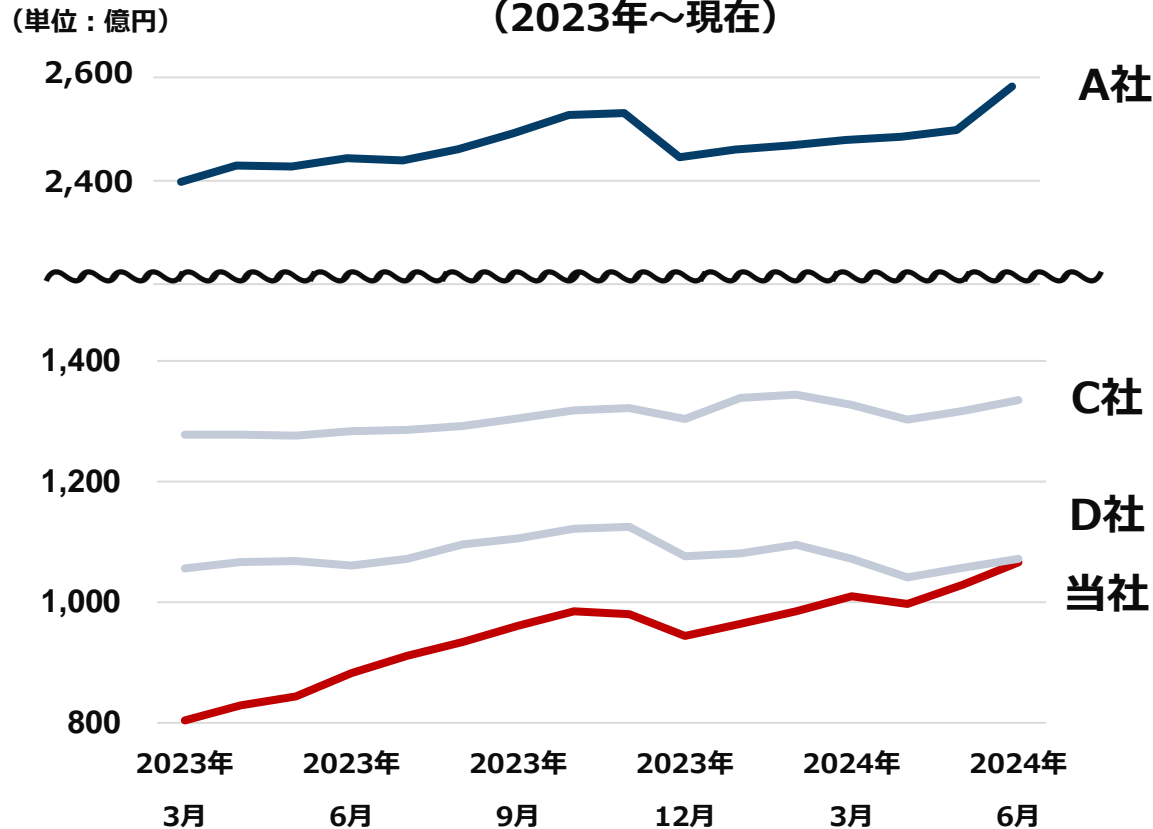
# FX業界における預り資産他社比較

金融を、もっと面白く。

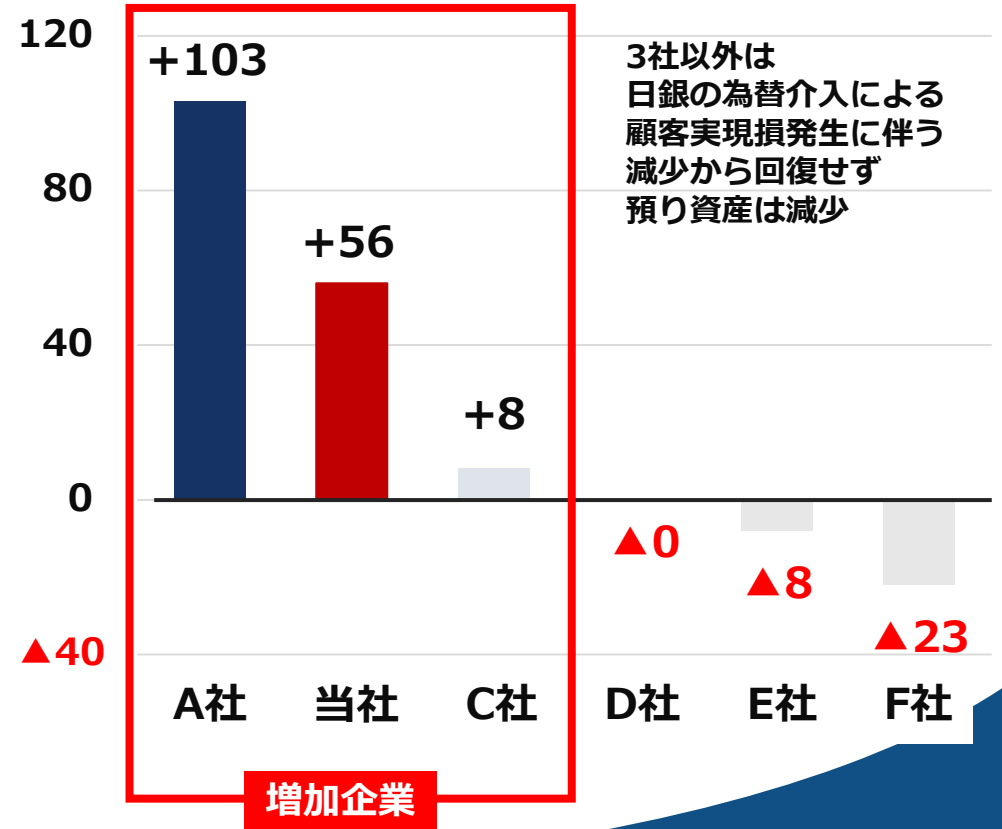


- ✓ 2024年6月末時点で預り資産は1,066億円となり27年3月末のTOP3到達へ向け順調なスタート  
※一般社団法人金融先物取引業協会の店頭FX登録会員数47社中（2024年6末日時点）
- ✓ 2024年4月～6月の3か月間で預り資産が増加した主要企業は当社含め3社のみ

預り資産増減推移※  
(2023年～現在)



預り資産増減表  
(2024年4月～6月)



※預り資産1,000億円以上の月次情報を開示している企業のみ表示しております。

# 2025年3月期第1四半期 市況概況①



## 市況概況

第1四半期では、4月5月において日銀による約9.8兆円の円買い介入があったことでボラティリティの大きい期間となった。

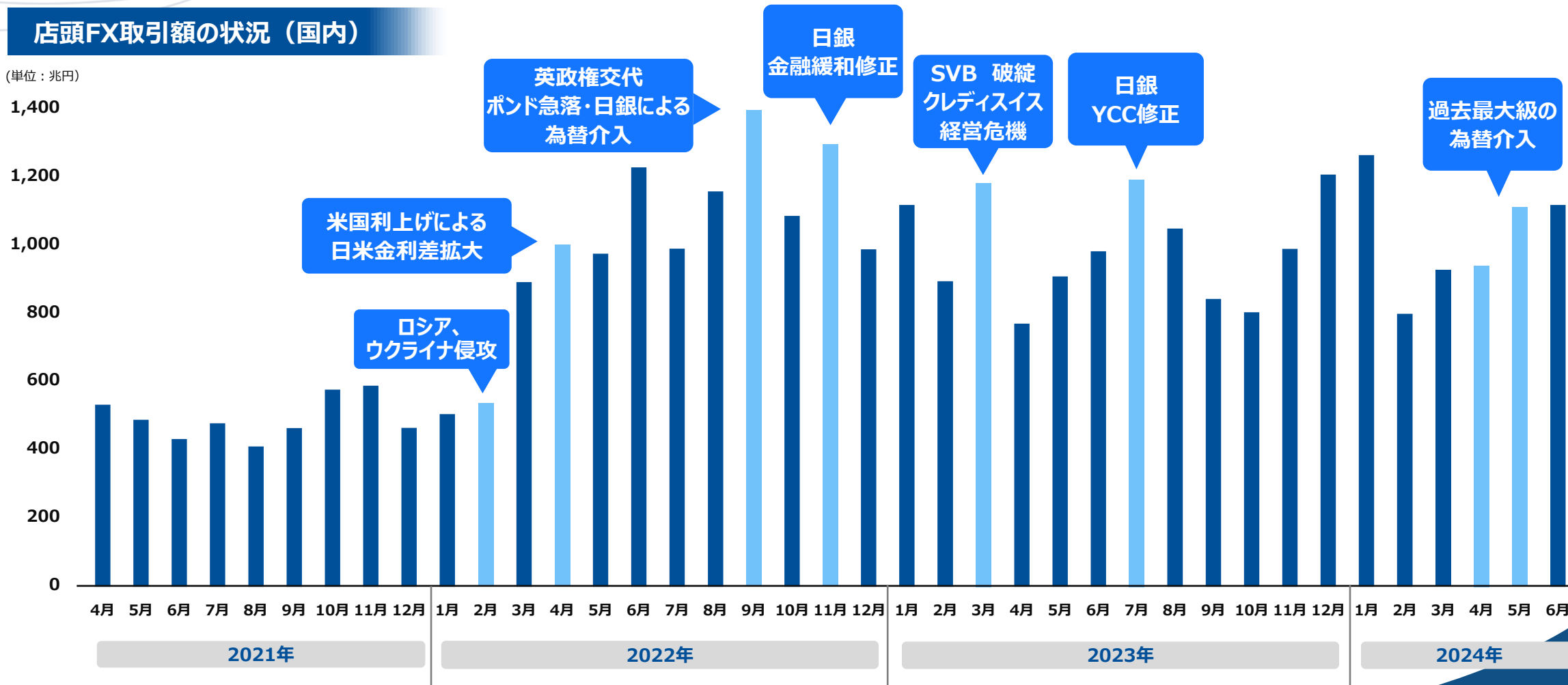
また6月も引き続き円安傾向は続き、常に円買い介入への警戒感がありつつも、米財務長官による為替介入への否定的な意見等もありつつ、さらに円安は進み161円台まで上昇することとなり、1986年12月以来37年ぶりの水準となった。

# 2025年3月期 市況概況②

金融を、もっと面白く。



引き続き市場環境は活況が続き、店頭FX取引額は高水準で推移 2023年に引き続き、FX取引は活況に



出典：一般社団法人金融先物取引業協会

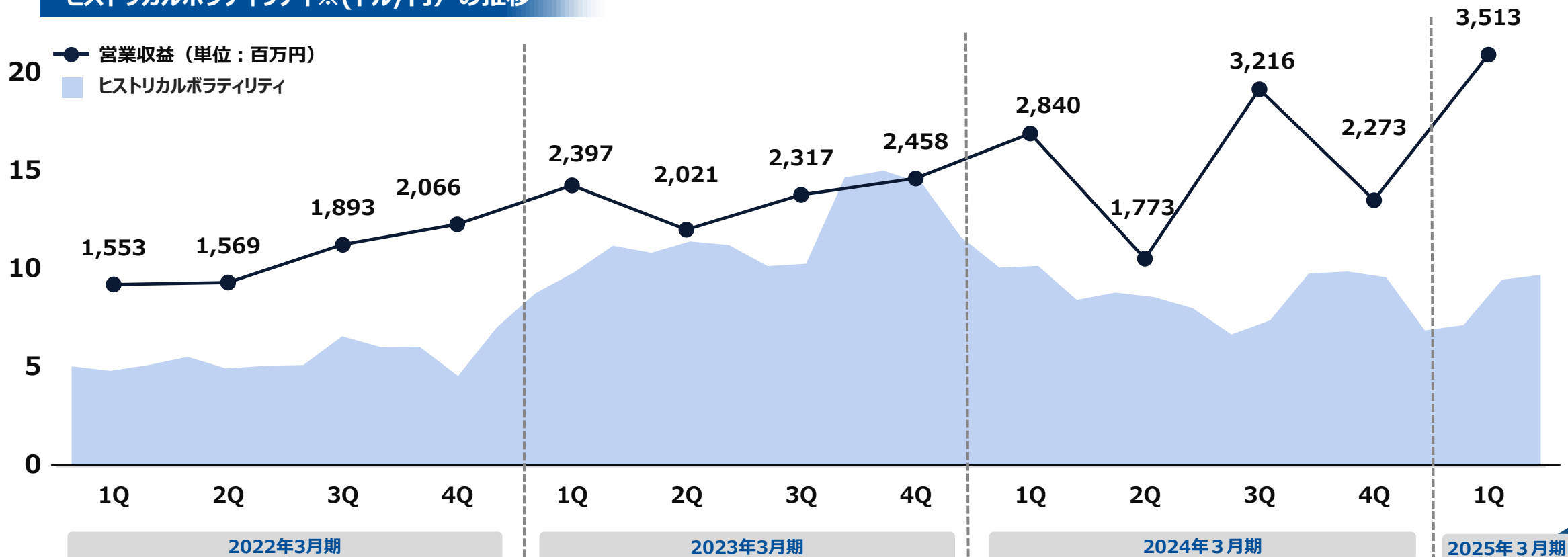
# 2025年3月期 市況概況③

金融を、もっと面白く。



ヒストリカルボラティリティは一時的に低下傾向であったが、当期第1四半期では若干の回復傾向に  
4月、5月の為替介入による局所的なボラティリティ増加がみられた

ヒストリカルボラティリティ※(ドル/円) の推移



※ヒストリカルボラティリティとは、テクニカル分析手法の一つで、過去のデータに基づいて統計的に算出した価格の変動率のこと。  
過去の価格変動が小さければ、ヒストリカルボラティリティは小さくなり、過去の価格変動が大きければ、ヒストリカルボラティリティも大きくなる。  
上図では四半期会計期間である過去60日の値動きデータに基づき計算。

# 預り資産の残高状況に関する説明

## 補足資料

金融を、もっと面白く。



当第1四半期において急激な円高の進行が複数回起こり、実現損失の発生による預り資産の減少が発生  
⇒P.20以降に記載する施策にて減少分を上回る積み上げに成功

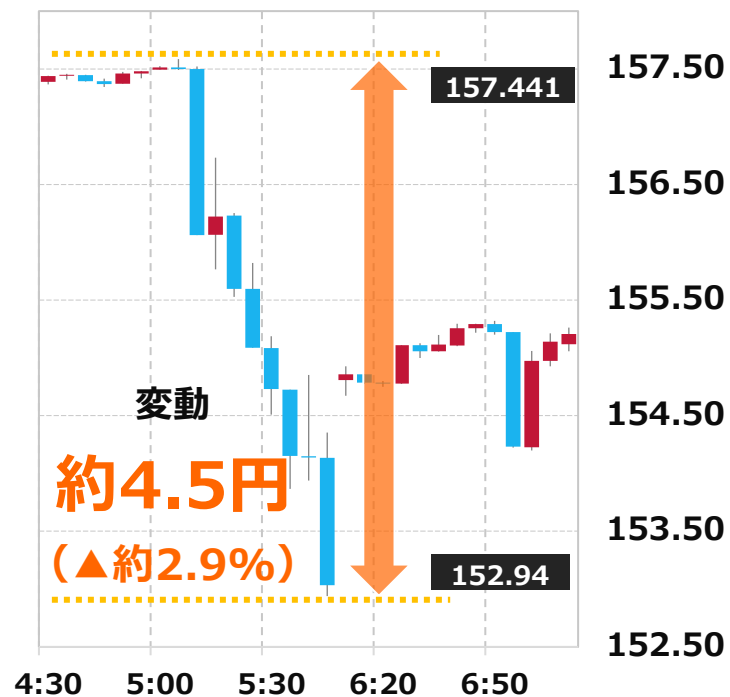
USDJPY (5分足チャート)

2024年4月29日 為替介入



USDJPY (5分足チャート)

2024年5月2日 為替介入



MXNJPY (10分足チャート)

2024年6月4日 メキシコ大統領選



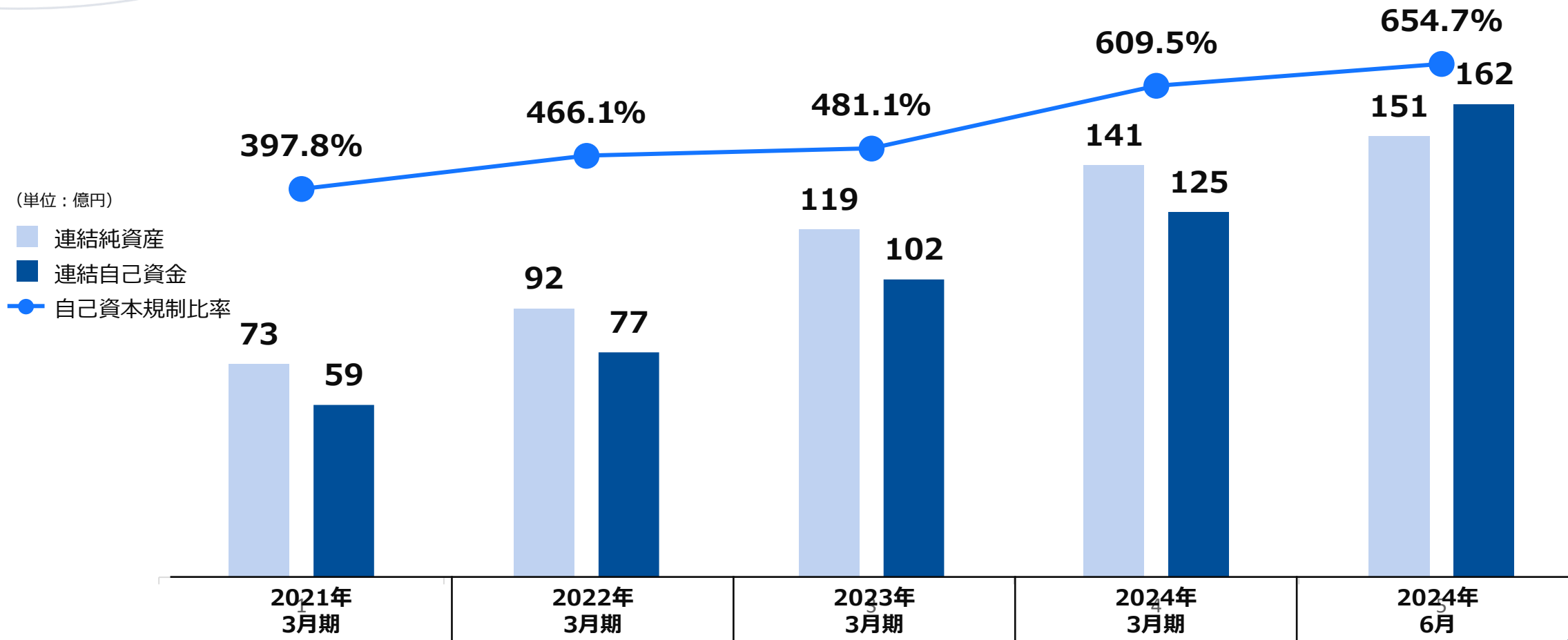


# 連結純資産および連結自己資金並びに財務安全性の推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ 業績拡大とともに**連結純資産が10億円増加**、**連結自己資金が30億円超増加**し、財務安全性が強化された
- ✓ 自己資本規制比率は654.7%へ上昇し、ストレステストの余裕率も上昇、将来のビジネス拡大への余力が高まる



(注) 連結自己資金 = 連結現金預金 + 短期差入証拠金 - 有利子負債  
(資金のうち顧客分別金を除いた当社グループに帰属する短期の自己資金)

金融を、もっと面白く。



# 2025年3月期決算 業績予想

# 2025年3月期 業績予想

金融を、もっと面白く。



- ✓ 当社の業績は為替相場の動向の影響を受けるため、各四半期毎の業績の変動幅は大きくなる可能性がある
- ✓ 第1四半期における業績は高進捗率であるものの、第2四半期以降の不確実性を考慮し、業績予想は据置きとする

| (単位：百万円)            | 2025年3月期 1Q<br>(実績) | 2025年3月期<br>(予想) | 進捗率   |
|---------------------|---------------------|------------------|-------|
| 営業収益                | 3,513               | 11,800           | 29.8% |
| 営業利益<br>(営業利益率)     | 2,054               | 5,000<br>(42.4%) | 41.1% |
| 経常利益                | 2,051               | 5,000            | 41.0% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1,485               | 3,400            | 43.7% |
| 預り資産                | 1,066億円             | 1,150億円          | 40.1% |

金融を、もっと面白く。



# 業績予想達成に向けた2025年3月期の施策進捗

# 2025年3月期の取り組み（マーケティング）

▶▶ 2024年4月～6月 キャッシュバックキャンペーンや各広告施策を強化  
預り資産および新規口座獲得数は順調に増加

- ✓ 「ご入金で最大1%キャッシュバックキャンペーン」、「スワップ取引応援キャンペーン」等の魅力的なキャンペーンを複数開催し、**預り資産の増加に貢献**
- ✓ 広告施策の強化等により**新規口座獲得数も順調に増加**
- ✓ FX投資未経験者層に向けた訴求を強化し、さらなる新規口座開設獲得数の増加を図る



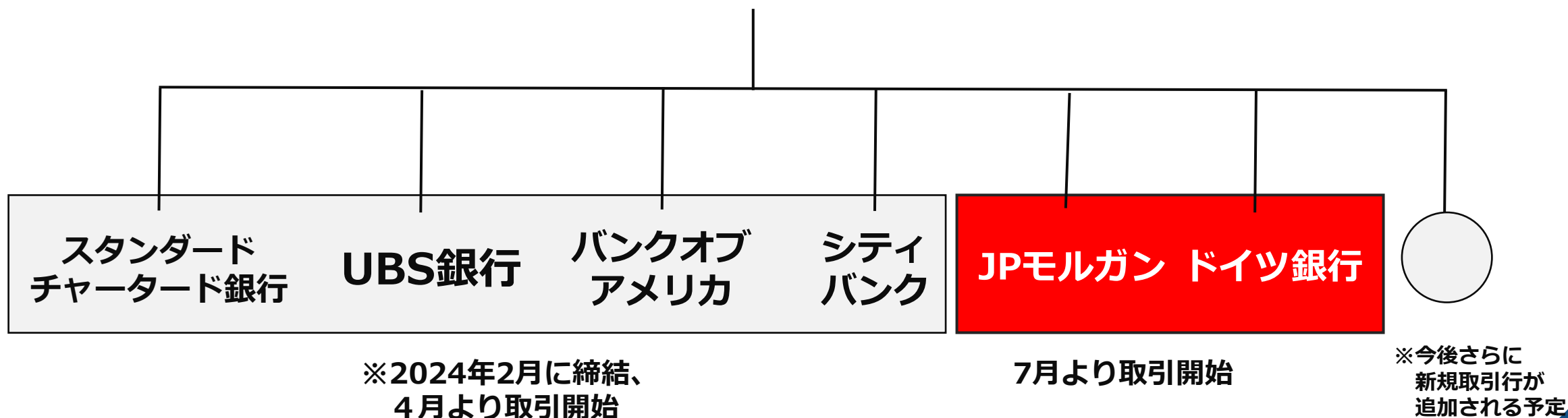
# 2025年3月期の取り組み

金融を、もっと面白く。



- ▶▶ 2024年2月にPB契約を締結し、外資系金融機関6行を新規カバー先に追加  
より競争力のあるプライスの提供を受け、今後の収益性の更なる改善を見込む

## Prime Broker



# 2025年3月期の取り組み（大口顧客戦略）

金融を、もっと面白く。



## ▶▶ 4月より大口顧客戦略専門部署としてロイヤルコンサルティング部を新設

大口顧客の再定義や様々な施策を開始 大口顧客の預り資産は3か月で1.1倍に

### ✓ 大口顧客を新定義

- ・収益や預り資産の増加等様々な観点から貢献度の高い大口顧客を再定義
- ・これまでリーチできていなかった多様な大口顧客へサポート

### ✓ 大口顧客限定の特典を充実

- ・有識者を招いた大口顧客限定セミナー・勉強会の開催
- ・当社CVCファンドの投資先ドクターズ社が提供する医療者を活用した、投資家医療支援プログラム「TRADERS Medical Support™」を提供開始

### ✓ 担当制による個別コンサルティング

- ・担当制により顧客ニーズを明確に把握  
当該大口顧客に特化した個別コンサルティングが可能な体制を構築
- ・顧客接点増加に伴う良好な関係構築から離脱を抑制



**預り資産の増加に寄与**

### 6月29日に大口顧客限定の勉強会を開催

今後のマーケット展望、経済動向について有識者を招いてセミナーを実施



元ゴールドマンサックスのプロップトレーダー志摩力男氏（写真中央）



第一生命経済研究所首席エコノミストの西濱徹氏（写真中央）

# 2025年3月期の取り組み（AIサポートデスク進捗）



➤ FleGrowth：経済産業省が推進する「IT導入補助金2024」でIT導入支援事業者として採択される「AIサポートデスク」が補助金対象ツールとして認定 中小企業が導入する場合最大150万円の補助

- ✓ **経済産業省**が推進を行うIT導入補助金にAIサポートデスクが採択され、補助対象となる中小企業・小規模事業者が当社サービスを新たに導入する場合、最大で導入金額の**およそ1/2（最大150万円）の補助**を受けることが可能に
- ✓ AWS Summit Japan内で「AIサポートデスク」が実用化までの速度感や社内での有効活用事例、外販開始などについて評価を頂き、事例として掲出される
- ✓ 導入企業増加に向け営業部門にて販売推進を開始 外部評価の影響もあり、商談数は順調に増加中





金融を、もっと面白く。



# 資本政策

# 株主還元

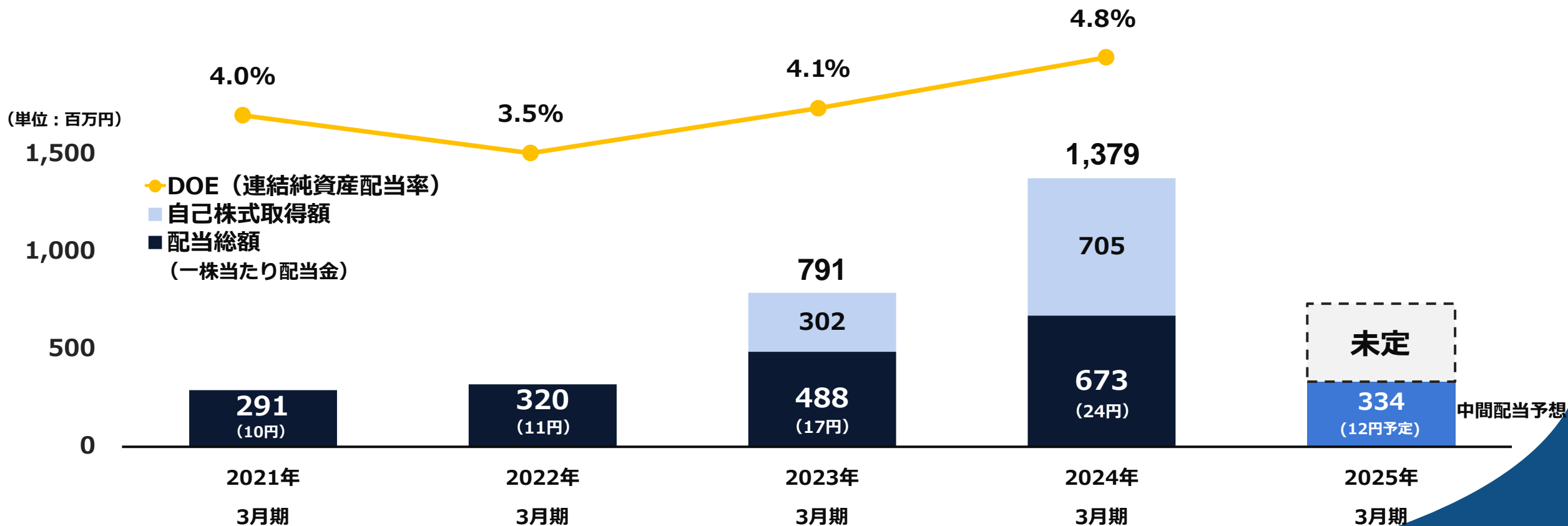
金融を、もっと面白く。



✓ 還元方針：連結純資産配当率（DOE）4%を目安に安定的な配当実施  
機動的な自社株買いの実施

✓ 2024年3月期の年間配当金は一株当たり24円（中間配当8円）

✓ 2025年3月期中間配当金は12円を予定（前期年間配当金額の2分の1を基準とする）



# ストック・オプションについて

金融を、もっと面白く。



- ✓ グループ役職員が長期にわたって当社グループの株価を持続的に高めることを意識して貢献する意欲を高め、かつ優秀な外部人材の獲得を強化するための施策として2024年3月期に導入
- ✓ 今回実行予定の第14回ストック・オプションは新規入社した社員および昇格者にする付与分
- ✓ 行使により交付する株式は新規発行ではなく自己株式を充当することで、資本効率を高めつつ成長投資として活用する方針

## 第14回ストック・オプション（新株予約権）の概要

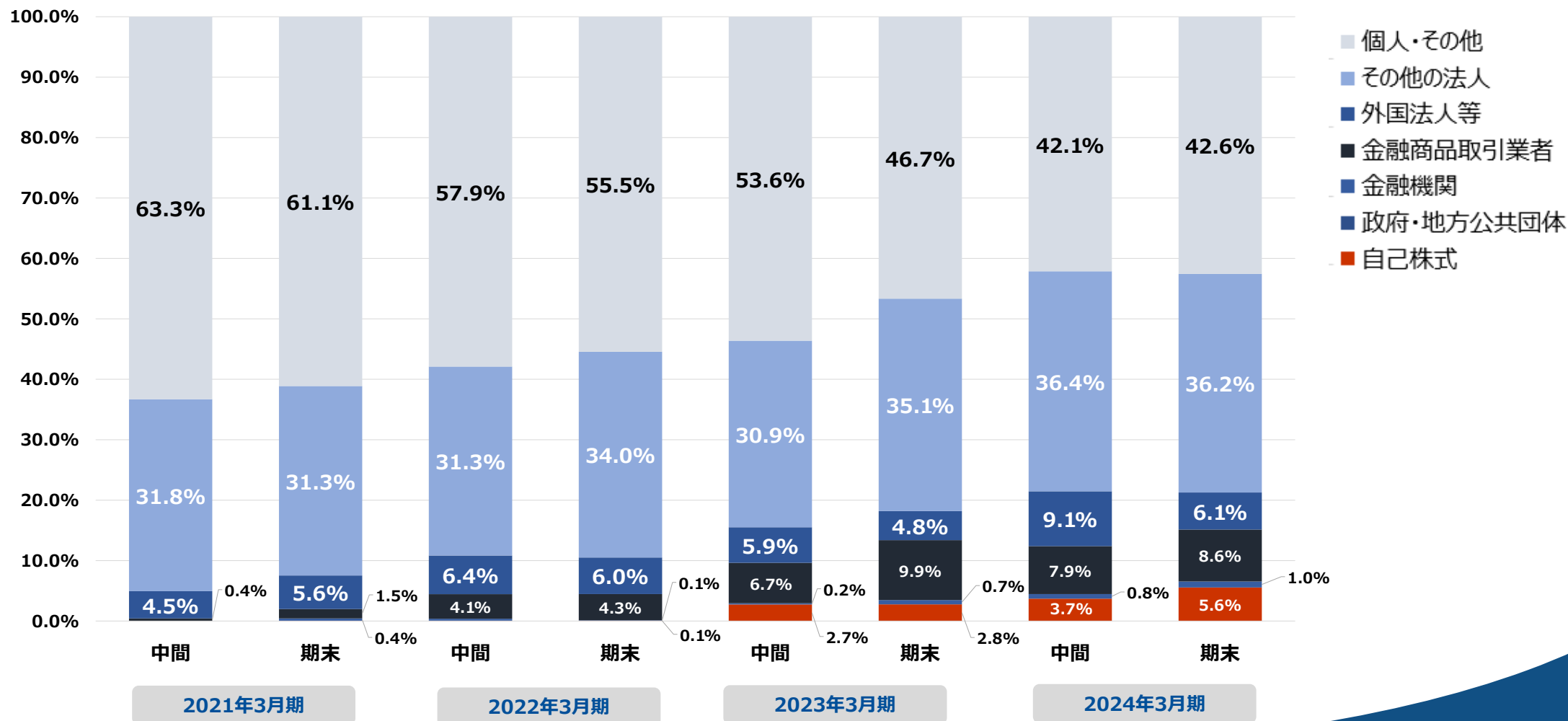
|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 新株予約権数 | 1,012個（1個につき100株）               |
| 権利行使価格 | 820円（2024年7月16日当社終値）            |
| 行使期間   | 2026年7月から2034年7月までの間において段階的に行使可 |

# 株式情報（保有状況分布表）

金融を、もっと面白く。



- ✓ 投資目線の厳しい外国法人等の取得比率は増加傾向 自社株買いによる自己株式の保有割合も増加
- ✓ 2024年3月期にJPX日経中小型指数銘柄にも選定され、機関投資家からの注目も集まりつつある



# プライム市場上場要件への適合状況（2024年6月末時点）

金融を、もっと面白く。



- ✓ 好調な業績を背景に収益基盤、財政状態については十分に要件をクリア
- ✓ 引き続き、適合要件の達成に向け、株価対策を最重要課題の一つと捉えて注力  
プライム市場上場企業にふさわしいガバナンス等の組織体制強化を行っていく

|                      | プライム上場要件 | 当社の状況          | 適合状況 |
|----------------------|----------|----------------|------|
| 流通株式時価総額             | 100億円    | 112億円 ※1       | ○    |
| 時価総額                 | 250億円    | 229億円 ※1       | ×    |
| 収益基盤<br>(直近2年間の利益合計) | 25億円     | 81億円           | ○    |
| 財政状態 (純資産額)          | 50億円     | 151億円          | ○    |
| 株主数                  | 800人     | 7,203人 ※2      | ○    |
| 流通株式数                | 20,000株  | 14,467,524株 ※2 | ○    |
| 流通株式比率               | 35.0%    | 49.0% ※2       | ○    |

※1 2024年6月期末の株価 1株778円にて計算

※2 株主名簿情報は基本的に2024年3月期末時点の情報を使用

金融を、もっと面白く。



# Appendix

# 投資魅力の高い会社として指数構成銘柄に選定

金融を、もっと面白く。



## 2023年8月に「JPX日経中小型株指数」構成銘柄へ選定



# JPX-NIKKEI Mid Small

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、「**投資者にとって投資魅力の高い会社**」が採用される「JPX日経中小型株指数」に選定されました（2023年8月31日に組み入れられました）

### □ JPX日経中小型株指数とは

- ✓ JPX総研と日本経済新聞社が共同で算出した、JPX日経400と同じコンセプトを中小型株に適用し、**持続的な企業価値の向上、株主を意識した経営を行っている企業**で構成する株価指数
- ✓ 東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場の対象銘柄の中から、定量的な指標のスコアリングに加え、定性的な要素を加えた基準で行われ、**上位200銘柄が選定**
- ✓ 2023年選定銘柄はプライム市場177社、スタンダード市場12社、グロース市場11社と**圧倒的にプライム市場上場企業が多い中**での選定となった

# Sustainability Policy

トレイダーズグループの考えるサステナビリティ

これまで、わたしたちは様々なステークホルダー、すなわち株主、投資家、お客様、お取引先、社員、関係諸機関等と適切に協働し、もしくは支援を得ながら、企業として少しずつ成長の道を歩んでまいりました。当社グループは、上場会社として、また、様々な事業を営む企業体として、自己の利益だけを追求することなく、これからも、金融商品取引事業とシステム開発コンサルティング事業のそれぞれの活動そのものの中で、長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティへの取り組みを進めてまいります。今後、当社グループの成長をけん引するために、ステークホルダーとの協働により、社会的価値と経済的価値を向上させ、または、創造する取り組みを推進することこそが、社会や環境面におけるサステナビリティを巡る諸課題に対する、わたしたちの義務と責任であり、使命であると考えています。



## 社会的な課題の解決のために

### 金融リテラシー向上への取り組み

### 渋谷区と連携し、区内の小学校と中学校において出張授業プログラムを開始



本年4月に東京都渋谷区の全ての公立小・中学校で探究「シブヤ未来科」が本格的にスタートしました。学校と企業が連携して進める形式の様々な探究プログラムの中から当社グループが渋谷区に提案させていただいた金融リテラシー向上支援を主眼とする出張授業プログラムを、区内の長谷戸小学校と中学校1校に採択していただき、数カ月にわたり複数回の授業を実施することが決まりました。

長谷戸小学校での第1回目の授業は6月20日（木）に「お金×社会」をテーマとした探究に取り組む6年生14名の児童の皆さんを対象に「人生100年時代へ新時代を生き抜く、お金との向き合い方（外国為替編）」が行われました。



#### 児童の皆さんからのコメント

「自分のお金のことは自分で考えるべきだと思った」  
 「円安にもメリットがあると知り驚いた」  
 「複利があんな力を持っていたなんて知らなかった」

#### ご担当の先生からのコメント

「お金のことを調べれば調べるほど、社会を良くするために自分たちが出来ることは無いと子供たちが限界を感じていたところで、井口さんのお話を聞いて、投資が日本の企業を強くすることなど自分たちで出来ることがあると気づけたことが大事なことで、今日は信じられないほど生き生きしていました。」

**今後も講師を派遣した出張授業や職場体験プログラムの実施、その他各種イベントへの参加を通じ、幅広い層の金融リテラシーの向上に資する金融経済教育活動への取り組みを推し進め、サステナブルな社会の実現に貢献することを目指してまいります。**

# コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

当社における東証「コーポレート・ガバナンス・コード」全原則のComply状況は前期に比べ4つ増加  
残り4項目のComplyを目指す

①2023年6月時点（スタンダード市場）

②2024年6月末現在※（スタンダード市場）

※2024年6月27日のCG報告書提出時点

Comply **全原則83項目中** Explain



Comply **全原則83項目中** Explain



残り4つの  
Complyに  
向けて邁進

## Complyに向けて当社が改善してきた主な事項

### ポイント1！

グループとして取り組むべきサステナビリティ（持続可能性）活動を実践するための専門委員会（ESG推進委員会）を設け、企業として果たすべき社会・環境面での役割（例：金融リテラシー向上の金融経済教育支援等）について、問題意識の共有、行動計画立てとその実践によって、社会・環境との共生を目指す取り組みを推進

### ポイント2！

多様性のある優秀な人財の確保、育成による活躍推進を目指す「人財育成方針」と「社内環境整備方針」の下、グループとしての具体的な到達目標を定め、持続的な業績拡大に資する従業員の労働意欲・生産性向上に向けた社内諸制度の整備や働き方改革を推進

### ポイント3！

任意の指名報酬委員会を設置し、社外取締役の役割・知見を活用した客観的・独立的な観点をもとに、指名・報酬に関する基準・方針、中核人材におけるジェンダー等の多様性確保、また、取締役会に求められるスキル向上等に関する集中的な審議を通して、取締役会の実効性を高める補完機能を強化

## コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

### 監査等委員会設置会社への移行

#### POINT 1

監査等委員である取締役にも  
取締役会において**議決権を付与**

取締役会の監査・監督機能を強化  
コーポレート・ガバナンスの一層の充実  
及び企業価値の向上を図る

#### POINT 2

取締役の指名・報酬等に関する手続きの  
**客観性、透明性、公正性を強化**

実効的なコーポレート・ガバナンス体制を  
より一層充実させるため、  
取締役会の任意の諮問機関として  
委員の過半数を社外取締役で構成する  
**指名・報酬委員会を設置**

#### POINT 3

重要な業務執行の決定の一部を  
**業務執行取締役に委任**

機動的な意思決定の実現を推進

金融を、もっと面白く。

traders

MISSION

ミッション

新たな価値を創造し続ける

Create the New Values

VISION

ビジョン

お客様から最も信頼される“FinTech”グループとなり、  
だれもが未来に投資できる社会を実現させる

金融を、もっと面白く。

traders

VALUE

# バリュー

トレーダーズ  
ホールディングス

関わるすべての“人”を大切にしながら、  
コンプライアンスとダイバーシティ（多様性）を尊重した経営で、  
変革にチャレンジし続ける

トレーダーズ証券

金融リテラシーの向上に貢献しながら、  
お客様と社会が求める新たなサービスの提供にチャレンジし続ける

FleGrowth

競争力のあるサービスを提供しながら、スピード感をもって  
安定的かつ革新的なシステム開発にチャレンジし続ける

## 本資料に関する注意事項

当資料に掲載されている事業戦略や目標数値、見通し等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断した内容であり、実際の業績等の結果は、今後の経済情勢や事業環境、為替市場の動向等、様々な不確定要素その他リスク等に起因して、記述とは大きく異なる可能性があります。

また、マーケットシェアや市場規模等の数値について一部当社の推計値が含まれており、調査手法等によって異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

### 本資料に関するお問合せ

トレーダーズホールディングス株式会社  
ir@tradershd.co.jp (IR担当)



金融を、もっと面白く。